

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	夏祭りや敬老会、地域の行事には参加しているが、施設で企画して行うイベントなどは実施できていない	介護教室や地域住民の参加を目的としたイベントを開催し、地域との交流の機会を広げる	介護教室を企画し、町内会誌や民生委員を通じ参加を呼びかける。夏祭りや敬老会など、地域の行事に参加した際に地域住民に呼びかけ参加を促す	12ヶ月
2	45	身体を動かすことが不自由な利用者が増えているため、入浴介助時において利用者に浴槽に入って十分に温まっていたくことが困難になっている	入浴介助時の介護・支援について、より良い方法を考える	浴室内に手すりを増やし、利用者の移動をより安全に行えるようにする。浴槽内にも手すりを増やすなどし、利用者が安心して浴槽に入り温まれるよう支援する	12ヶ月
3	33	ターミナルケアを希望する利用者、家族が多く、利用者の重度化も進んでいるため、職員の研修や協力医療機関とのより良い連携が必要である	利用者、家族だけでなく職員も安心してターミナルケアを行うことができるようにする	職員が安心して介護にあたるよう、広く研修を受講し備える。協力医療機関の医師や看護師とより良い関係を築き、カンファレンスを頂けるような体制づくりを行う	12ヶ月
4	4	運営推進会議での、参加者の発言、希望などをもっと多く引き出し取り入れたい	会議での参加者の意見を多く引き出し、今後の運営に反映させていく	会議での参加者の発言、希望が言いやすい雰囲気作り、声かけなどを行い、多くの意見を述べていただけるよう心がける	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。